

令和4年度 学校関係者評価委員会は、委嘱を受けた三軒茶屋小学校の学校関係者評価委員として以下の内容を報告します。

令和5年1月25日
世田谷区立三軒茶屋小学校
学校関係者評価委員会委員長
池谷 恵美

学校関係者評価委員会報告

アンケート調査について

三軒茶屋小学校の「みんな なかよし 三茶小」をキャッチフレーズに、教育目標である「よく考える子ども・思いやりのある子ども・体をきたえる子ども」をもとに、校長先生はじめ諸先生方のご指導を受け、子どもたちは日々心と体の成長を遂げています。

学校経営方針にあるように、ひとりひとりの児童理解に基づいた指導支援を行い、学習する力、自己肯定感、自己有用感を高めているとみえます。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な影響が出てきている中でも学習内容の定着を目指し、自ら考え答えを出すことを経験しながら、他者の個性を尊重する場面を作り、向上していくことで子どもたちが大きく成長し実り豊かな学校生活を過ごせるよう、さらなる教育活動の充実を期待しています。

今年度もコロナの影響はあるものの、学校が再開されて、通常とはいわないまでも少しずつ戻りつつある。授業や行事などの活動は、出来ることを工夫した指導でご尽力されていること、また不安を抱える子どもたちを優しく見守っていただき、本当にありがとうございました。

1 回収小計と回収率

保 護 者	児童数417名に配布	回収 96通	回収率 23%
児 童	5・6年児童139名	実施126名	実施率 91%
地 域	32名に配布	回収 21通	回収率 66%
教 員	24名に配布	回収 24通	回収率 100%

2 アンケートの分析に基づき学校に期待する改善

(1) 本校の重点目標取り組み

- ◎ 児童の「学校生活が楽しい」「先生たちは丁寧に指導してくれる」が90%を越えており、保護者の項目でも「本校の学校生活は、子どもにとってたのしい」の評価が高いのは、安心した生活のなかで学ぶ事ができる学校環境の実現があるからと考える。児童の「学校行事は達成感がある」「学校行事が楽しい」の評価も高く、教職員の「児童に学校行事へ主体的な参加をさせている」など、行事に関して肯定的評価も高い項目が多いことから、学校に対する信頼と期待の高さがうかがえ、重点目標を通して学び、取り組むことで、先生方の思いが子ども達に伝わっていることがわかる。
- ◎ 教職員の評価項目「重点目標を日常の指導に取り入れている」と地域の評価項目「重点目標が明確である」の評価はとても高い。しかし、保護者の「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている」の評価は、あまり高くないため一層の保護者への周知をお願いしたい。

○ 自ら考え、判断することができる児童を育てる

児童の評価項目「先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」「授業では考えたことを話し合ったり発表したりする機会がある」が100%と高評価になっている。「先生は、児童の意欲を大切にしている」も評価が高い。これらは自ら調べることで学びを深め、探求的に学習に取り組む授業や考える授業が、自ら考え判断することの大切さを学んでいることが、子ども達に定着し、また、保護者の評価項目である「本校は子どもが考えることや、課題を解決することを大切にしている」「本校は、子どもの意欲を大切にしている」の評価も高く、保護者にも指導が理解されていると思われる。

教職員の評価項目「自ら考え、判断することができる児童を育てることができている」「子どもの意欲を高める指導ができている」は、児童や保護者が捉えている事ほど高くないが、児童・保護者の評価が高いのは、教職員の指導の賜物によっての高評価であると考えられる。

○ 互いを認め合い、仲良くすることができる児童を育てる

上記にもあるように、児童の評価項目「先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」が100%の高評価であり、保護者の評価項目「本

校は、子どもが考えたことを話しあったり、発表し合ったりする機会がある」も評価が高い。

教員の評価項目「児童が活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している」でも数値が高く、それは、授業等での友達との話し合いや、少しずつ増えてきている運動会等の学校行事や宿泊行事などで、様々な立場や考えの仲間達と作り上げることの達成感を通して、協同的に学習に取り組む中から、他者の意見を聞き感じ取り、互いに認め合い成長している。

三茶太鼓、長縄跳びなどの異学年交流の中で、上の学年の児童が下の学年に活動を引継ぎ教え、下の学年の子ども達が学ぶ機会があることも児童のお互いを認め合うとうことに結びついていると考えられる。小学校6年間は、人間形成の基礎となる大事な時期である。互いを認め合う心がより一層、育まれるような心がけや教育の充実をお願いしたい。

○心身の健康を心がけ、安全に過ごすことができる児童を育てる

保護者の評価項目「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」と教職員の評価項目「健康、安全面への指導ができています」の評価が高く、子どもたちの心身の健康に生活の指導での取組は、教職員が工夫し、体育等で子ども達の心と体の体力向上へ向け、食生活や睡眠等の生活習慣の確立に向けた、より一層の取組をお願いしたい。

また、保護者の評価項目「本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている」と教職員の評価項目「安全指導や避難訓練などを通じて、児童の安全を確保することに努めている」評価が高いことは、教職員が子ども達の安心・安全を守るため、知恵を出し合い避難訓練や安全指導等で、自らが安全に過ごせる力を育てるように取り組んでいることを保護者も理解している。また、子どもたちの学校外での様子を見ている地域の評価項目「通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている」が高評価であるように日頃の指導が、子どもたちの行動に表れている。

今後も、基本的な生活習慣を正しくすること、安全安心が大事であることを、保護者と地域と共同しながら児童への理解に繋げる支援をしていける環境作りをお願いしたい。

(2) 教育活動の推進について

① 特色ある教育について

たてわり班交流活動による異学年交流や三軒茶屋小学校独自の取組である、三茶太鼓について三茶太鼓は6年生（師匠）から5年生（弟子）へ伝統を引継ぎ伝える関係であり、この関係は、他学年のよき手本となっている。

また、今年は様々な行事も行われ、もみの木コンサートも開催し、お茶づくりや三茶まつりも実施され、学年を超えた異学年交流ができています。異学年交流や上級生から下級生への伝統の継承などを、これからもすすめていきたい。

② 安心・安全な学校づくりについて

地域項目では「学校は、安心安全な学校づくりを進めている」「学校は、安全性を高めようと地域と協力している」と肯定的な評価が高い。引き続き、学校・保護者・地域で連携し、子どもたちが安心して落ち着いて、気持ちよく生活や学習できる環境と安全で信頼される学校づくりをすすめるよう、ご理解、ご協力をお願いしたい。

③ 学校の情報の発信について

今年度も保護者・地域の学校の情報に関する項目では、全て肯定的評価が高い。今年度は、学校公開実施や、オンデマンドでの道徳地区公開講座、70周年行事の配信など、学校の情報を見ることができていることが評価されている。

また、ホームページも、見やすく分かりやすい。学校側も”子どもたちの学校生活を見てほしい”という気持ちから毎年工夫を重ねてきている。コロナ禍でなかなか学校へ出向く事ができない方もいるため、評価が高いと思われる。引き続き学校生活を知る手段として、期待されている。

(3) その他

学び舎や学校協議会等について保護者・地域共に「わからない」が多く、中学の情報の取得については、保護者項目の評価が低い。これは、コロナ禍で学び舎の小・中の交流も制限せざるを得なかったこともあり、分かり難い内容となっているためと考える。

今年度の学校関係者評価を基に重点目標を策定され、来年度に向けての学校運営にご活用いただきたい。本校の子どもたち一人一人が生き生きと輝き、自信をもって力を発揮できるよう教育活動のさらなる充実を期待している。

さいごに、飯田校長先生はじめ諸先生方には、温かく、時には厳しく、子どもたちにご指導いただき本当に感謝しております。1年間子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございました。